



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
 コード番号 5724 URL <http://www.asaka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野納 敏展
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営管理部 経理課長 (氏名) 塚原 俊輔 TEL 024-944-4744
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	6,070	△14.5	△340	—	△358	—	△184	—
25年9月期第3四半期	7,101	△32.0	236	19.9	234	123.2	138	138.9

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △178百万円 (-%) 25年9月期第3四半期 137百万円 (116.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△74.25	—
25年9月期第3四半期	55.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	6,568	2,011	30.0	791.68
25年9月期	5,132	2,198	42.6	878.58

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 1,969百万円 25年9月期 2,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年9月期	—	0.00	—		
26年9月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年9月期の業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,981	△15.6	△335	—	△356	—	68	△41.0	27.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 （社名）TWINKLE METAL (M) SDN.BHD.、除外 1社 （社名）－

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の移動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期3Q	2,572,300株	25年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	84,731株	25年9月期	84,731株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期3Q	2,487,569株	25年9月期3Q	2,487,593株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府ならびに日銀の経済・金融政策の影響により、為替相場および株式市場の安定が図られ、景況感はゆるやかな回復を示しました。

一方、当社グループの経営成績に影響の大きい、電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンやタブレット端末の普及、車載電子機器の増加等の流れによって、世界的な需要は拡大しつつあるものの、国内での生産活動は、総じて低調に推移しており、使用される貴金属の量も減少傾向にあります。

また、主力製品である金の価格は、小幅な上昇と下落を繰り返しておりますが、国際価格は下落基調にあり、当期の平均価格は前年同期の水準を下回りました。銅の価格は、期中平均で、前年同期をやや上回る水準となりました。

このような環境をふまえ、当社グループでは、貴金属事業・環境事業に次ぐ事業の柱を育てるべく、大規模な技術開発投資を実行しております。福島県いわき市に取得した用地に、レアメタル・レアアースに関する研究開発拠点を新設し、レアメタル・レアアースの新しい分離・精製技術の確立に向けた実証試験を行っております。現在開発中の技術は、独立行政法人日本原子力研究開発機構が基礎技術を開発した新しい溶媒抽出技術で、従来の技術に比べて、格段に抽出効率が高いことが特徴です。この技術は、コンパクトかつシンプルな装置を使用し、低コストで迅速な回収ができるうえ、分離した元素を濃縮する性能も備えております。さらに、環境に優しい技術でもあります。当社は、同機構との共同研究によって、基礎技術にいくつかの新しいプロセスを加え、実用化を目指しています。今回、2件の大型の補助金（平成23年度「希少金属使用量削減・代替技術開発設備整備費等補助金（レアアース・レアメタル使用量削減・利用部品代替支援事業）」及び平成25年度「ふくしま産業復興企業立地補助金」）を活用し、優位に実証試験を実施することができます。当期間においては、実証設備の設置を完了し、実証試験を開始いたしました。引き続き、レアメタル・レアアースの分離・精製技術の確立に取り組むとともに、早期の事業化を目指してまいります。

また、当期間においては、貴金属の回収品目を拡大するための前処理技術の開発や、生産工程の合理化にも取り組みました。その他の新規事業テーマについても、技術開発や販売拡大に向けた活動を継続しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、受託加工取引も含めた貴金属の総取扱数量は増加いたしました。しかし、貴金属価格の下落及び受託加工取引の割合増による販売数量減少の影響から、売上高は、6,070百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。営業損益は、貴金属相場の下落および製品構成の変化による売上総利益の減少、上述の技術開発投資の増加、海外子会社取得に伴う費用増加等によって、340百万円の損失（前年同四半期は236百万円の利益）となりました。営業損益では、当第3四半期連結会計期間において、上述の研究開発拠点の研究設備の取得があったことから、研究開発費が大きく増加し、利益の押し下げ要因となっております。経常損益は、358百万円の損失（前年同四半期は234百万円の利益）となり、四半期純損益は、補助金収入58百万円を特別利益として計上したことによって、184百万円の損失（前年同四半期は138百万円の利益）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

(貴金属事業)

当事業の主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、前年と同程度の水準で低調に推移しましたが、取引先の開拓等によって、貴金属の総取扱数量は増加いたしました。一方、貴金属の販売価格は、前年同期の水準を下回りました。また、取引形態変更による受託加工取引の割合が増加したことによって、貴金属の販売数量は前年同期実績を下回りました。この結果、売上高は、5,462百万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。セグメント利益は、貴金属価格の下落、製品構成の変化による売上総利益の減少、海外子会社取得に伴う費用増加等によって、292百万円（同50.3%減）となりました。

(環境事業)

当事業の主要なお客様が属する電子回路基板業界の生産は、減少が続いており、電子回路基板向けエッチング液及び銅ペレットの販売数量は、前年同期の実績を下回りました。一方、銅ペレットの平均販売価格は、前年同期を上回る水準となり、新規事業である光触媒事業での販売も伸びたことから、売上高は558百万円（同3.7%増）となりました。セグメント利益は、新規事業の拡大やコスト削減等の効果によって、62百万円（同74.5%増）となりました。

(その他)

その他に含まれるシステム受託開発事業および運輸事業の売上高は、146百万円（同1.7%減）となり、セグメント利益は、8百万円（前年同四半期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて1,436百万円増加し、6,568百万円となりました。

主な要因は、建物及び構築物が778百万円、繰延税金資産（流動資産）が118百万円、現金及び預金が99百万円増加し、たな卸資産が97百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて1,623百万円増加し、4,557百万円となりました。

主な要因は、長期借入金が1,179百万円、短期借入金が794百万円増加し、1年内償還予定の社債が200百万円減少したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて186百万円減少し、2,011百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が222百万円減少し、少数株主持分が27百万円増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、平成26年9月期（平成25年10月1日～平成26年9月30日）の業績予想について、本日（平成26年8月8日）修正発表しております。詳細については、本日発表の「平成26年9月期通期業績予想の修正についてのお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年4月8日付で、TWINKLE METAL (M) SDN. BHD. の株式を新たに60%取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、平成26年7月2日付けで、TWINKLE METAL (M) SDN. BHD. の商号をASAKARIKEN (M) SDN. BHD. へと変更しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,275,464	1,374,607
受取手形及び売掛金	318,604	356,796
商品及び製品	486,530	484,647
仕掛品	431,936	301,170
原材料及び貯蔵品	15,882	51,212
繰延税金資産	54,315	172,907
その他	199,175	624,157
流動資産合計	2,781,910	3,365,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,235,780	2,093,682
減価償却累計額	△695,394	△774,863
建物及び構築物（純額）	540,385	1,318,818
機械装置及び運搬具	2,010,750	2,201,653
減価償却累計額	△1,675,252	△1,779,627
機械装置及び運搬具（純額）	335,497	422,025
土地	1,204,244	1,206,144
リース資産	71,234	71,234
減価償却累計額	△44,054	△52,995
リース資産（純額）	27,179	18,238
建設仮勘定	48,459	24,262
その他	171,477	186,343
減価償却累計額	△151,779	△161,252
その他（純額）	19,698	25,090
有形固定資産合計	2,175,466	3,014,581
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	66,814	75,684
繰延税金資産	4,675	3,253
その他	79,191	86,486
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	150,659	165,401
固定資産合計	2,350,122	3,203,215
資産合計	5,132,032	6,568,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,585	183,591
短期借入金	750,638	1,545,090
1年内償還予定の社債	260,000	60,000
リース債務	12,795	17,443
未払法人税等	67,304	390
その他	431,514	398,388
流動負債合計	1,712,837	2,204,904
固定負債		
社債	320,000	260,000
長期借入金	574,958	1,754,423
リース債務	15,610	15,649
繰延税金負債	—	39,608
退職給付引当金	32,640	13,466
長期未払金	229,460	220,390
資産除去債務	48,155	48,804
固定負債合計	1,220,824	2,352,341
負債合計	2,933,661	4,557,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	339,295	339,295
利益剰余金	1,367,574	1,145,550
自己株式	△46,444	△46,444
株主資本合計	2,164,720	1,942,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,805	26,666
その他の包括利益累計額合計	20,805	26,666
新株予約権	12,844	14,196
少数株主持分	—	27,907
純資産合計	2,198,370	2,011,468
負債純資産合計	5,132,032	6,568,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	7,101,397	6,070,506
売上原価	5,895,072	5,197,890
売上総利益	1,206,324	872,616
販売費及び一般管理費	970,036	1,212,871
営業利益又は営業損失 (△)	236,288	△340,255
営業外収益		
受取利息	135	929
受取配当金	1,241	160
受取賃貸料	5,772	5,547
その他	12,015	6,088
営業外収益合計	19,166	12,726
営業外費用		
支払利息	13,710	19,104
その他	7,129	11,482
営業外費用合計	20,839	30,587
経常利益又は経常損失 (△)	234,614	△358,117
特別利益		
補助金収入	—	58,300
負ののれん発生益	—	3,045
特別利益合計	—	61,345
特別損失		
固定資産除却損	679	92
特別損失合計	679	92
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	233,935	△296,864
法人税、住民税及び事業税	90,231	992
過年度法人税等戻入額	—	△7,247
法人税等調整額	4,973	△105,900
法人税等合計	95,204	△112,154
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	138,731	△184,709
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	138,731	△184,709

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	138,731	△184,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,358	5,861
その他の包括利益合計	△1,358	5,861
四半期包括利益	137,372	△178,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,372	△178,848

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,528,137	531,592	7,059,730	41,666	7,101,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,375	7,490	8,866	107,750	116,616
計	6,529,512	539,083	7,068,596	149,417	7,218,013
セグメント利益又は損失 (△)	588,730	35,748	624,479	△126	624,353

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	624,479
「その他」の区分の損失(△)	△126
全社費用(注)	△389,738
四半期連結損益計算書の経常利益	234,614

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,462,191	557,156	6,019,348	51,158	6,070,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,702	1,703	95,758	97,462
計	5,462,192	558,859	6,021,051	146,917	6,167,969
セグメント利益	292,486	62,369	354,855	8,267	363,123

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	354,855
「その他」の区分の利益	8,267
全社費用(注)	△721,240
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△358,117

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「貴金属事業」において、連結子会社TWINKLE METAL(M)SDN. BHD.の株式を取得いたしました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,045千円であります。